



ちきゅう
地球はどうしてとまらないの

ちきゅう たいよう うご
地球や太陽は、できるときから動いている

わたしたちが住む地球は、太陽系といわれる星の1つです。ずっとはるかな昔、およそ50億年前、水素やヘリウムなどのガス、宇宙のちりがうずを巻いて回転する原始太陽系星雲があり、その中心に太陽が輝き始めました。

宇宙空間に散らばっているガスやちりは、引力により集まり始めると、必ず回転する性質があります。太陽の周りの9つの「わく星」も、同じようにうず巻きの中から生まれてきました。どの星も、太陽の周りを同じ方向に回っています。その1つが地球です。

こうてん じてん ちきゅう
「公転」と「自転」をする地球

地球が太陽の周りを回っていることを「公転」、自分でぐるぐる回っていることを「自転」といいます。地球は約46億年前に誕生したといわれています。ということは、46億年の間、太陽の周りを回りつづけてきたということになります。それはまた、地球の動きをじゃまするものがなかったということにもなります。ですから、今のところ、地球が太陽の周りを回るのをやめることは、ちょっと考えられません。

また、「自転」のほうは、100年間に千分の一秒くらいずつ、速さがおそくなっていくといわれています。

(監修 国司 真)

●地球の自転と公転

